



Go To ころころ

政府見解？ 「GO TO トラベル」で（原因で）

「感染が増えているとの報告」は聞いていない？！ だが・・・

「GOTOトラブル」と揶揄された、政策。政府は、「GOTOトラベルが原因で感染が増えているとの報告は聞いていない」の見解（まだ）のようですが、全国の感染拡大状況から見直しに追い込まれたようです。キャンペーンには『アクセルとブレーキ』を例に、スタート前から賛否、危惧の議論が交わされていました。

菅首相は「感染拡大を受け緊急事態宣言の発令や、観光業・飲食業を支援する GOTO キャンペーンの見直しに慎重」「専門家もそのような状況にはないと認識を示している」と記者団に説明した（中日新聞 11 月 14 日・GOTO 見直し慎重）。とされていたが、11 月 21 日からの三連休中に「見直し」報道が、全体像が明かにされないままされ、今度は連日関係大臣が『見直し内容説明』会見をされている。

今回も、北海道知事の判断のほうが、迅速であったようだ。前政権で官房長官をされていたので「緊急事態への対応が遅い」事への責任は、菅首相にも一因があったのではと思われます。今度は「実務家だから、しっかりやるだろう」の期待は裏切られたか？ ころころと方針の不明確な、政府に「地方で判断しろ」といわれる前に「地方自治体での判断力」が問われる実態。

保守分裂選挙とコロナ対策

選挙では多くの選択肢が現れる事は、有権者にとって望ましいことと思われます。知事選 55 年ぶりの保守分裂選挙（岐阜新聞 23 日）と報道され、県政自民クラブが二人の候補予定者を推薦（岐阜新聞 23 日）。県議会や市議会では当選者は複数ですから、推薦が複数になる事は当然ありますが、当選者が一人となる首長選挙で複数推薦されても有権者も困惑であろう。

二人は新聞に「コロナ対策」を言明されているが、新人は元内閣府大臣官房審議官とある。「経済産業省や内閣府で新型コロナ対策を担ってきた知見を生かす」「新型コロナに伴う閉塞感を変えるために・・・」（岐阜新聞 23 日）とある。先日まで、前政権から現政権までコロナ対策に関わっていたとするなら、第一派の緊急事態宣言から第二派、そして今日の第三派までの「混乱の責任無し」とは言えない。政府の知見に対する国民の疑問が連日報道されている事を、候補予定者は考えた事があるのか？ 不思議だ。



夏の緑陰

本郷町けやき通り

本郷町通り（都市計画道路 金町本郷町線）は、昭和32年に幅員33mの幹線道路として整備されました。

昭和56年まではポプラが植栽されていましたが、台風により多くが倒れたため、翌年、本郷町1丁目から都通1丁目までの約560mの区間に100本のケヤキが植栽され、現在のケヤキ並木が誕生しました。

植栽当時、高さ5mほどであったケヤキは年月とともに大きく成長し、春の新緑、夏の緑陰、秋の紅葉、冬の裸木など、四季折々の風景を楽しませてくれます。

秋の紅葉の時期には、地域が主体となり落葉清掃やケヤキ祭りなどが行われ、大切に保全・活用されてきた本郷町のケヤキ並木は、「緑のトンネル」として市民に親しまれ、岐阜市を代表するグリーンインフラとして次の世代へと受け継がれています。



受賞歴・選定歴

- 平成6年度「新・日本街道街100景」（読売新聞社）
- 平成11年度「大気環境木のある風景10選」（岐阜県）
- 平成12年度「第20回 緑の都市賞 内閣総理大臣賞（都市緑化機構）」
- 平成15年度「緑陰道路プロジェクトモデル地区」（国土交通省）
- 平成15年度「ぎふの三十六景」（岐阜まちづくりセンター）

第3回 けやきクリーン運動 参加ありがとう

11月22日(日)は本郷まちづくり協議会の「けやき並木の清掃大作戦」第一日目。協議会・自治会関係者、そして市職員では基盤整備部の皆さんに御参加頂き、けやき並木と本郷公園も掃除をお願いできました。第一日目であり、落ち葉も多く大変でした。参加者の皆さん、ありがとうございました。29日には、上記の「緑の都市賞プレート」の除幕式も、健康増進体操も、あります。12月は、6日、13日、20日です。

長良小学校プール再入札の発注

まだ出さない教育委員会 **市文教委員会で判明**

11月20日13時30分から、市議会文教委員会の閉会中審査が行われました。議題は2点、9月議会で（建設費の削減案が）否決された長良小学校のプール建設（当初予算にもどり、建設を求める修正案が可決）のその後の教育委員会の取り組み報告。一校一プール見直しの教育委員会案に関する報告。

委員会では、9月議会の議決経過から、長良地元に対し「建設の是非」を今聞く内容の「アンケート」事態が問題であるとの強い指摘がなされました。さらには、同席したまちづくり部への質問で、教育委員会事務局が再入札の準備に、まちづくり部に発注していない事が明らかにされました。

説明会という名の言い訳会見や、事後住民アンケート、生徒のディベートにむりやり「プール建設是非」議題挿入など、教育長は時間稼ぎをして、住民と子どもたちを梃子にして、9月議会の議決を反故にしようとしているのでしょうか。



松原のりかず
☎058-253-2500